

雨よけ栽培に適した米ナス「試交 5 号」の育成

石井敬子・植田祥平・猪野亜矢・岡田昌久・松本満夫

‘Shikou No. 5’, a Novel Cultivar of Eggplant of the ‘Black Beauty’ type,
Adapted for Fruit Production under Rain Protected-Cultivation

Yukiko ISHII, Shouhei UETA, Aya INO*, Masahisa OKADA and Mitsuwo MATSUMOTO**

要 約

雨よけ栽培に適した米ナス系統「試交 5 号」を育成した。「試交 5 号」は、「くろわし」後代の蒔
培養系統と「太郎早生」自殖第 10 世代との F₁ であり、雨よけ栽培において次のような特性を示す。

1. 草姿はおおむね「太郎早生」に似る。
2. 果実は卵形で、「太郎早生」および「くろわし」に比べて肩部の張りがよい。果皮色は黒紫色
で、「太郎早生」と同程度である。へたは「太郎早生」および「くろわし」のいずれよりもやや
小さく、へた下の帯紫程度は「太郎早生」よりも濃い。果皮の硬さは「くろわし」と同程度で
ある。
3. 10a あたりの総収量は「太郎早生」と同等であるが、A 品収量は「太郎早生」よりもやや多い。

キーワード：米ナス，F₁，育種，雨よけ栽培